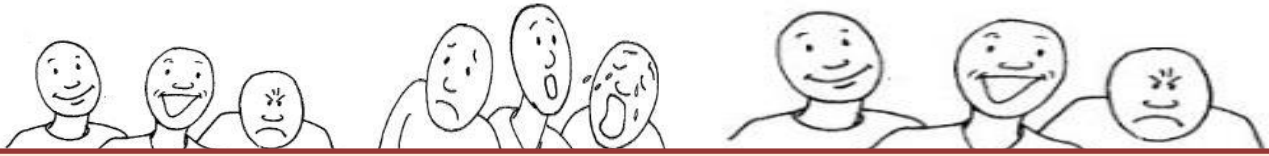
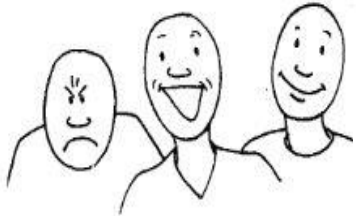


## 2016年12月連続公開講義「健康をささえる社会のしくみを考えよう」



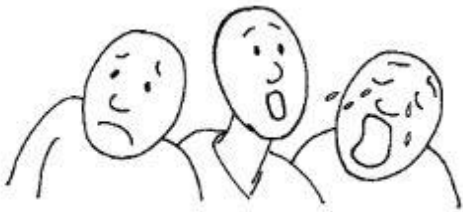
所得の格差が健康の格差につながり、またその逆も生じる状況が日本でも問題になってきています。タイで健康の格差を改善するために尽力してきたドクターが2016年12月来日します。社会、健康、公正をキーワードに、一人一人の健康が守られる社会を一緒に考えてみませんか。



■国際保健・協力に関心がある方へ 12月18日(日)14:00~17:00

**タイにおけるユニバーサル・ヘルス・カバレッジの歩みに学ぶ**

ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）は、誰でも必要なときに必要な保健医療サービスを大きな経済的負担なく受けられるようにするための取り組みです。2015年国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」にも取り入れられました。タイでは、2002年に周辺国に先駆けて「国民皆保険」を達成。いかにそれが実現できたのか？その経験をお聞かせします。



■保健医療、福祉、国際協力に進みたいと考えている高校生・大学生へ

12月23日(金・祝)13:30~17:30

**ワークショップ 何が健康をささえているんだろう？**

病院が遠くて行けない、治療費が高くて払えない。そんな中、人びとの健康を守ろうと問題に立ち向かってきたタイのドクター。健康保険を導入して、安く治療が受けられるようする。お金持ちかどうかで健康でいられるかどうかが決まってしまうことのないように、どんな人にも「健康」が手に届くものするためです。あなたの健康は何でささえられていますか。一人ひとりの健康を広い視野でとらえてみたいと思います。



**講師紹介** Viroj Tangcharoensathien（ヴィロート・タンチャロンサティエン）氏  
農村部の病院で勤務後、ロンドン大学衛生学熱帯医学大学院で学ぶ。帰国後、公衆衛生省で政策立案に携わる。タイにおけるUHCの推進者の一人。その経験を基に国際的な政策提言も行う。1985年にはアジア保健研修所（AHI）の国際研修に参加。

今回は名古屋市立大学看護学部の外国人研究者招へいプログラムにより来日。12月21日、22日は同大桜山キャンパス（名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄1）にて公開セミナー、講義を行う（同大での詳細は以下の専用サイトまで）  
**★いずれも入場無料・日本語による解説あり**



共催：

名古屋市立大学看護学部

JICA 中部国際センター

アジア保健研修所

■会場

12月18日、23日いずれも、JICA 中部国際センター

名古屋市中村区平池町 4-60-7 各線名古屋駅から徒歩 15分

■申込・問合せ

専用サイト <https://sites.google.com/site/dec2016systemshealth/>

（「健康をささえる社会のしくみを考えよう」で検索してください）

サイト入力をご無理な場合は、下記へお電話にてお願いします。

12/18 名古屋市立大学看護学部（国際保健看護学）TEL: 052-853-8032

12/23 アジア保健研修所（AHI）TEL: 0561-73-1950